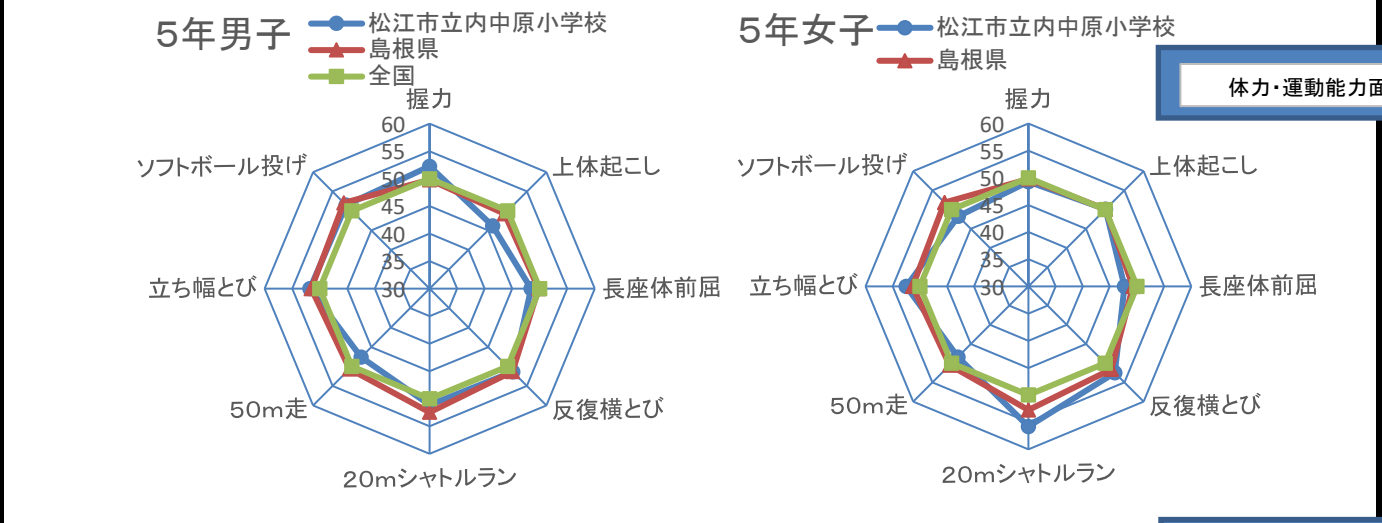
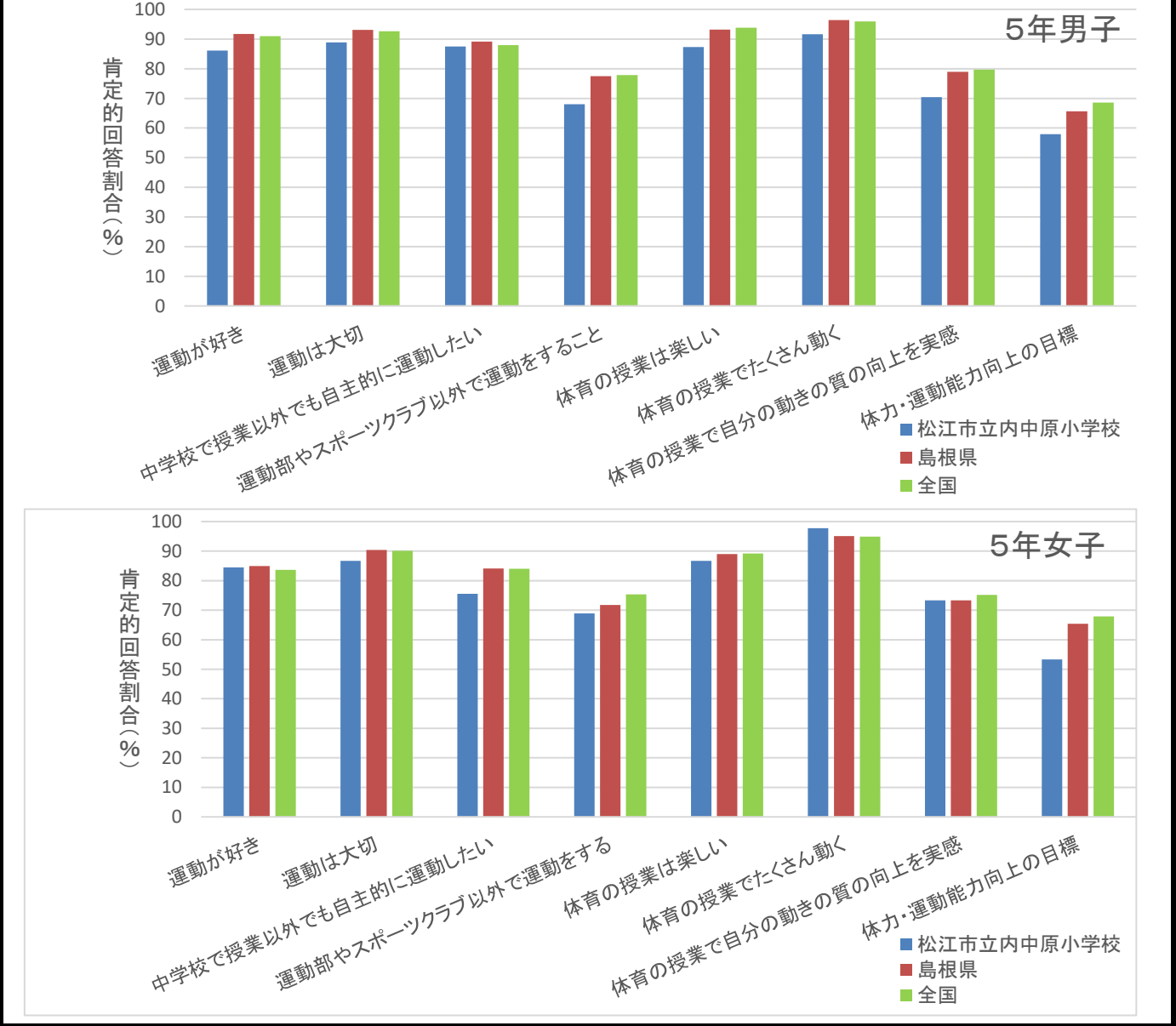


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「握力」「反復横跳び」「シャトルラン」が全国平均を上回っている。「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」については、全国平均・島根県平均ともに上回っており、「跳躍能力」と「投力」が強みである。 ○女子では「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」が全国平均・島根県平均を上回っている。「筋持久力」「敏捷性」「全身持久力」「投力」が強みである。
課題
●男子では特に「上体起こし」「50m走」が全国平均を下回り、「筋持久力」「疾走能力」が課題である。 ●女子では特に「長座体前屈」「ソフトボール投げ」において全国平均を下回り、「柔軟性」「巧緻性・投力」が課題である。
次年度の対策
○朝のショートの時間で取り組める姿勢体操や体幹トレーニングに取り組むことで、毎日継続的に運動を行う。 ○普段の体育授業の中で一人一人に十分な運動時間を確保できるようにする。 ○4月の体力調査結果から学年部ごとの目標を設定し、2学期末～3学期にかけて再調査を行う。

② 意識面

強み
○男子では「体育の授業でたくさん動く」と回答した割合が9割を超えている。 ○女子では「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均・島根県平均ともに上回っている。
課題
●男子では全ての質問項目において肯定的な回答をした児童の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「中学校で授業以外にも自主的に運動したい」「体力・運動能力向上の目標を立てている」と回答した割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○一人一人が目標達成のための「めあて」をもって運動に取り組み、自己の取組をふりかえることのできる体育授業の充実に努める。 ○運動の楽しさを味わい、日頃から学校や家庭で運動をする意欲を高めることができる取組を検討・実施する。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・夏季休業中の研修会に参加した教員を中心に、伝達研修を企画・実施する。 ・学校訪問指導の場を生かし、体育の授業構想について話し合う機会をもつ。
② 体育科授業の工夫・改善について
・今後も「めあて」「ふりかえり」のある授業の充実にについて学年部で情報共有を行うことで、授業改善を図る。 ・夏季休業中の職員会議・学年部会で体力調査の結果を分析し、2学期以降の体育授業・体育的取組に反映させる。
③ 体育授業以外の活動の工夫について
・朝のショートの時間を活用した姿勢体操や体幹トレーニングを実施をする。 ・体育委員会とタイアップしたレクリエーションや運動習慣、スポーツ集会などを行う。 ・休み時間に活用できる遊具や運動補助具などの充実に図ることで運動に親しむ素地を養う。
④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・早寝、早起き、朝ごはんについて児童・保護者に意識づけるための「チャレンジ週間」等の取組を年に1度行う。 ・保健だよりの中で運動や健康に関するテーマを取り上げ、各学級の実態に応じて指導することで、児童・保護者の健康への意識を高める。